

研究構想シート		学校名	雲南市立三刀屋中学校
		氏名	青木満恵
A 研究主題		自他のよさを生かし合い、主体的に向上しようとする生徒の育成 ～協働的な学びの実践を通して～	
B 研究の目的		「自他のよさを生かし合い、主体的に向上しようとする生徒」を育成する	
C 子どもの実態	E 手立て・内容（研究仮説）	D めざす子どもの姿	
	F 検証方法		
	G 研究計画		
<p>・学力の中・上位層には向上心があり、夢や希望をもっている生徒が多い。</p> <p>・3年生には学校や自分、地域のが好きで、自己肯定感が高い生徒が多いが、他から認められていると思う生徒がやや少ない。2年生は自己肯定感が全体的に低い。</p> <p>・学年や個人による学力差が大きい。</p> <p>・表現力が不十分な生徒が多い。</p>		<p>・すべての教育活動に、協働的な学びの必要性や効果の実感につながる活動を意図的に取り入れることをすれば、①他者とのコミュニケーションを大切にし課題解決や目標の実現を目指す力をもった生徒、②積み上げた学びを、新たな挑戦や自らの生き方につなげる力をもった生徒が育つであろう。</p> <p>・故郷に愛と誇りをもち、志をいだいて自己実現を目指す生徒</p> <p>・自分のよさに気づき、多様性を尊重し、物事に協働して取り組む生徒</p> <p>・物事の本質を見極め、信じた道をねばり強く歩み続ける生徒</p> <p>〔キャリア教育の基礎的・汎用的能力のうち、特に〕</p> <p>・他者とのコミュニケーションを大切にし、協力・協働によって、課題解決や目標の実現を目指す力をもった生徒</p> <p>・積み上げた学びを、新たな挑戦や自らの生き方につなげる力をもった生徒</p>	
<p>以下のような具体的な取組をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の確立 ・一人一授業の実践 ・総合的な学習の時間の進化（新化・深化） ・キャリアパスポートの活用 ・各教科共通の授業スタイルの実践 ・基礎学力育成のための取組 			